

わたしの 妊娠報告書

記載日 2020年 7月 1日

おめでた宣言日	2018年 11月
年齢 (32) 歳	平成 (27) 年 (3) 月 結婚
私は (体外受精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(2) 年 (6) ヶ月
他院での治療歴	<input checked="" type="radio"/> なし あり→内容 ()
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 (5) 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精 (1) 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 () 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

採卵までや採卵から移植の間など十分に体を休ませた上で旅行などを
計画して気分転換をした事で辛い注射などを乗り越える事が出来ました。
効果があったのかは不明ですが体外受精前後には金銭にも通いました。
後はルイボスティーを温かくして食んだりもしました。
一番は夫婦が仲良く支え合えたことが精神の安定につながり良かったと思います。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

結婚して1年程は自己流で婚活を頑張りましたが、全く出来ず、主人は病院はまだ...という感じでしたが、私は早く子供が欲しかったので夫婦で相談して覚悟しました。正直、初めは病院に行けばすぐ妊娠出来るだろうと考えていたのですが、人工授精までしても一度もかたりせず、1年2年と経ち後から結婚した人がどんどん妊娠していくのを見るのがとても辛かったです。結果、このまま人工授精を続けるより、負担は大きいけど成功率が高い体外授精にステップアップしました。原因不明だったのでステップアップすることがかかる事が増えるかもしれないのもステップアップした大きな理由です。治療はアンタゴニスト法です。卵がたたくまで排卵前後は数日休むのが重たいと感じました。その他(通院・治療費・家族など)移植は痛みなく済みました。病院までは車で片道45分~50分程かかるので大変でした。一番大変だったのは体外授精という排卵になるか、移植になるか分からず、仕事の休み調整です。急な休みが必要になるのでステップアップ前に上司に全て話して休ませて頂きました。治療費は1年で100万近くかかったので大変でしたが共働きだったので頑張って働きました。ジョリだったのが、高度生殖医療の補助金は別に市から不妊治療の助成金があるのを知らなくて(人工授精も対象)申請度は受けられなかった事。数万円ですがあると助かるので、こういう助成金があるのか調べることをおすすめします。

治療中の方へのアドバイス

不妊治療中は体の負担はもちろんです、精神的ストレスが本当に辛い事だと思います。なので気分転換は本当に大切だと思います。今思えば治療中夫婦で旅行や遊びに出かけた事は本当に貴重です。今はコロナもあってなかなか出かけにくいですが、出来る中でストレス発散することが大切だと思います。又、しんどくなりすぎた時は一度治療を休んだり、普段我慢しているお酒などを飲んだりするのもいいと思います。

ステップアップは勇気がいるですが夫婦で話し合って良いタイミングですとあるといいと思います。

スタッフへのご意見など

毎日夜遅くまで診察して頂き、仕事終わりでも通えたので本当に有難かったです。特に中山先生はほとんどお一人で車庫から晩まで診察して下さい。時には日付が変わる頃まで。私達夫婦の事を中心に考えて、真摯に向き合っているのが伝わってきて、先生には感謝しかありません。毎月も(おきり)と言って下さるのが私達夫婦にはとても良かったです。またスタッフのみなさまも、いつも優しく接して下さい。私が一度精神的に辛くなった時も話を聞いて下さり、本当に救われました。今の私達家族の幸せがあるのは中山先生はじめ、スタッフの皆のおかげです。本当にありがとうございました。